

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味とは次のようになっております。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
⊘ の中に具体的な禁止内容が描かれています。

警告 レンズ単体で太陽を直接見ないでください。
失明の原因になります。

注意 この製品や付属品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。幼児子供には「安全上の注意」や「使用上のご注意」の内容が理解できずに事故の原因となります。

注意 レンズまたはレンズをつけたカメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。太陽が近くのものに結像すると、火災の原因になります。レンズにキャップをつけたり直射日光を避けて保管してください。

使用上のご注意

レンズ面には直接指でふれないでください。レンズ面についた汚れは市販のレンズクリーナーをご使用ください。

MACRO APO-LANTHAR 125mm F2.5 SL



株式会社コシナ 〒383-8555 長野県中野市吉田1081

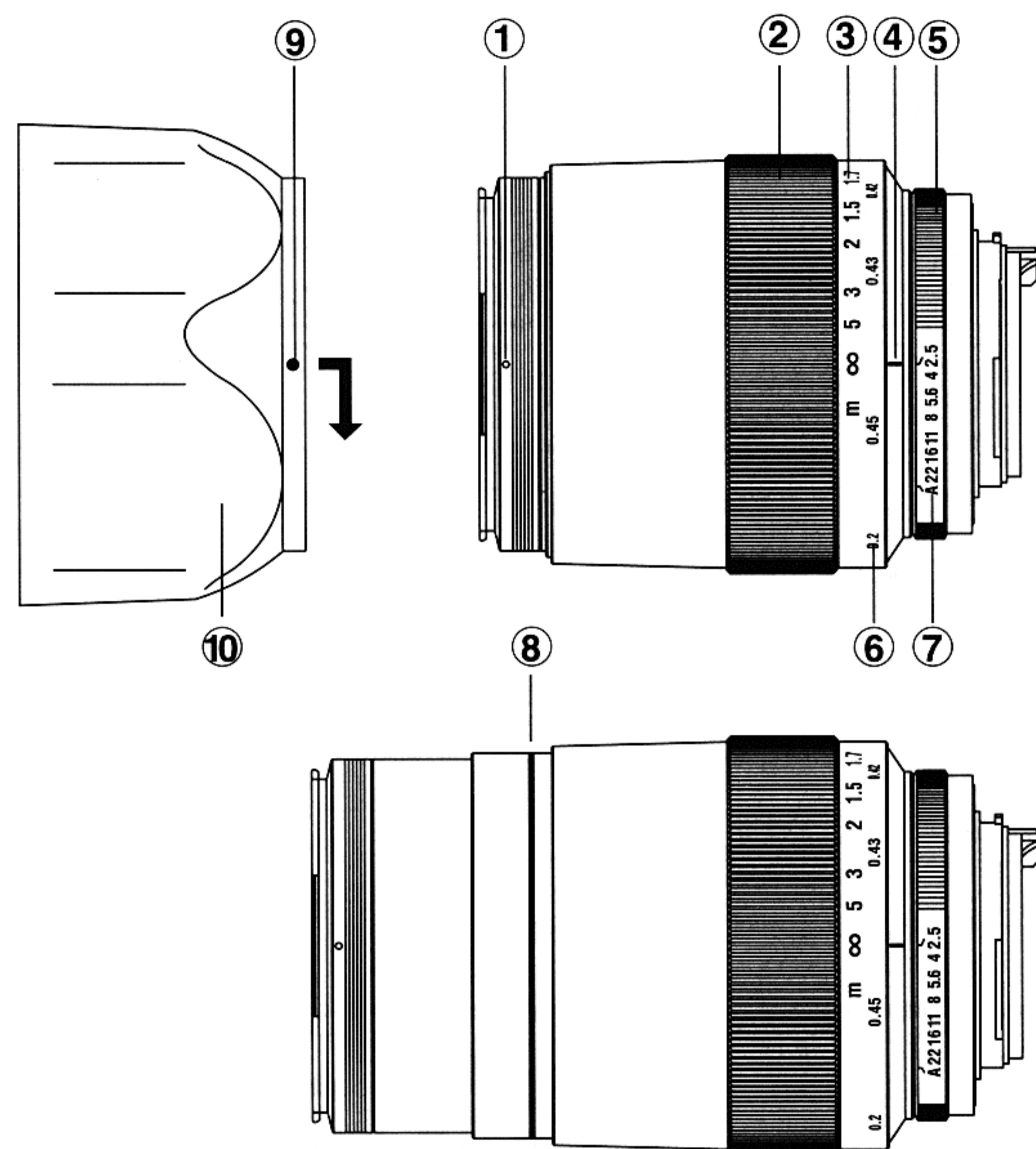
●レンズ仕様

MACRO APO-LANTHAR 125mm F2.5 SL

焦点距離	125mm
口径比	1 : 2.5
最小絞り	F22
レンズ構成	9群11枚
画角	20°
絞り羽根枚数	9枚
最短撮影距離	0.38m
最大撮影倍率	1 : 1
最大径	φ76mm
全長	88.2mm (Ai-Sマウント)
重量	690g (Ai-Sマウント)
フィルターサイズ	φ58mm
マウント種類	キャノン (FD) ニコン (Ai-S) ミノルタ (MD) オリンパス (OM) ペンタックス・リコー (PK-A/R) コンタックス (CY) M-42 キャノン (EF) ミノルタ (α)

MACRO APO-LANTHAR 125mm F2.5 SL

お買い上げありがとうございます。この使用説明書をよくお読みいただき、レンズをご活用ください。



●各部の名称

- | | |
|------------|-----------|
| ① 赤マーク | ⑥ 露出倍数目盛り |
| ② フォーカスリング | ⑦ 絞り目盛り |
| ③ 距離目盛り | ⑧ 距離目盛補助線 |
| ④ 距離、絞り指標 | ⑨ 赤マーク |
| ⑤ 絞りリング | ⑩ レンズフード |

●レンズフードの着脱方法

このレンズは角型フードが付属しています。レンズフードの装着時、フードの赤マーク⑨とレンズの赤マーク①を合わせ、フードをレンズ本体に軽く押し付けて矢印の方向（右回り）に回転させてください。外す時は同様にフードをレンズ本体側に軽く押し付けて逆の方向に回転させてください。

※M-42のマウントでフードをご使用になる場合のご注意
M-42はスクリーマウントのため、取り付けるボディによってはレンズの距離、絞り指標が真上でストップしない場合があります。この場合はフードがボディに対して傾いた状態になってしまいますが撮影に影響はありません。

●フォーカシング

このレンズは繰り出し量が非常に大きいため、フォーカスの回転角を大きくとっています。（∞～0.37mで約2回転弱）距離目盛りはm表示が2段階表示されています。撮影距離が∞から0.5mまでは上段（白色）の目盛りを、0.5m未満では下段（赤色）の目盛りを撮影距離の確認にご利用ください。また、0.5m未満では距離目盛り補助線⑧（赤色）がでできます。

●露出倍数目盛り

距離目盛り上の×2、×3、×4表示（黄色）は撮影距離が0.5m未満時の露出倍数目盛り⑥です。（距離目盛補助線⑧が出ている範囲でご使用ください。）TTL測光方式のカメラ以外でご使用の際、およびTTL自動調光ではないストロボ撮影の際の目安としてご利用ください。なお、各撮影距離での露出倍数撮影倍率は表1を参考にしてください。

●各撮影距離での露出倍数および撮影倍率

撮影距離 (m)	露出倍数	撮影倍率
1.5	1.1	1:10
1	1.2	1:7
0.8	1.3	1:5
0.7	1.4	1:4
0.6	1.6	1:3
0.55	1.7	1:2.7
0.5	1.9	1:2.2
0.45	2.2	1:1.8
0.43	2.6	1:1.6
0.42	2.7	1:1.4
0.4	3.3	1:1.3
0.39	3.7	1:1.1
0.38	4	1:1

※EFマウント、αマウントでのご使用

キャノンEFマウントおよびミノルタαマウントをご使用の場合、マニュアルフォーカスでのご使用となります。ただし、フォーカスイド（合焦表示機能）はご利用いただけません。また、AEは完全連動します。